

☆☆☆朝礼講話☆☆☆

12月15日(月)

「天国と地獄」

講話 校務主任(4年担任)吉川勝幸



今から話すお話は地獄と天国のお話です。

地獄も天国も食事は大きな円卓(円卓というのは、円いテーブルのことです。)を取り囲んでいただくそうです。中華料理屋さんで食事をしたことがある人ならわかるでしょうか。わたしたちの食事と全然違うのは、おいしそうな料理が並ぶ円卓を前に、さお竹(さお竹というのは、洗濯物を干す物干し竿のことです)ほどもある長い箸を使って料理を口に運ぶのだそうです。想像してみてください。食べるのは不自由でしょう。



地獄の円卓では、みんなが我先に、「自分が一番に食べるんだ」と自分の食することしか考えないので、長い箸と箸が音を立て交錯し、ぶつかって、みんなが腹を立ててしまい、結局料理は円卓の上に散乱し、散らかって誰一人として満足に食べることができません。

ところが、天国では、どうでしょうか。地獄と同じようになっているのでしょうか。天国では、自分の箸に挟んだ料理を

「これはおいしそうでございます。お一ついかがですか。」と、向かい側に座っている人の口元に、お互いが長い箸で料理を運んでいるのではないですか。和やかに平和に食事は進んでいき、みるみるうちに料理はなくなっていました。

にくみ、争い、奪い合う地獄のような世界がいいですか。相手を思いやり、助け合う天国のような世界がいいですか。そうですね。天国のような世界がいいですね。

みんなは友だちに、先生に、家族に、近所の人たちに、思いやりの気持ちを忘れないようにしてください。

天国と地獄



コピーライト:菅原秀幸

書写コンクール

1年 特選

さん

2年 特選

君

優等

君

優等

さん

さん

さん

入選

さん

入選

君

さん

君

さん

さん

3年 特選
優等
入選

君
さん
君
さん

4年 特選
優等
入選

君
君
さん
君
君
さん
さん

5年 特選
優等
入選

さん
君
さん
君
さん
さん
さん

6年 特選
優等
入選

さん
君
さん
君
さん

税に関する作品 (書写)

弥富市議会議長賞 6年

さん

